

平成 27 年度厚生労働科学研究費補助金

難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）

「小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究」（田口班）課題番号 H26-難治等（難）-一般-045

第 4 回 H 病類縁疾患 SR チーム会議 議事録

倉敷アイビースクエア 酒津羽島

岡山県倉敷市本町 7-2

出席者：松藤 凡、窪田 昭男、住田 互、金森 豊、下島 直樹、濱田 吉則、増本 幸二、渡邊 稔彦、河合 富士美、小幡 聡、眞部 紀明、曹 英樹、深堀 優、福岡智哉、大沼真輔、伊崎 智子、山崎 智子

CQ に対する推奨文、推奨の強さ、エビデンスの強さに関して討議を行った。

システミックレビューチームからの報告では、CQ の対象である 3 疾患は難病であることから、質の高いエビデンスはほとんどなく、多くは症例集積または症例報告である。このため、以下の基準で推奨の強さを決めることとした・

・推奨の強さに関して、専門施設で広く行われており、もし行わなければ重大な害を及ぼすことが明白な場合は（強い）推奨とする。

・他は、（弱い）推奨 = 提案する。

・エビデンスが弱く、推奨できることできる選択枝がない場合は、推奨はしない。推奨欄は空白とする。

CQ7 については、3 疾患ごとの解説文のみを記載する。

CQ	推奨の強さ 1,強い、2 弱い	実施 (する・しない)	(推奨・提案) する	エビデンス (A,B,C,D)
CQ1-1	1	する	推奨	C
CQ1-2	1	する	推奨	C
CQ1-3	1	する	推奨	C
CQ2-1	無し			D
CQ2-2	無し			D
CQ2-3	無し			D
CQ3-1	2	する	提案	C
CQ3-2	無し			D
CQ3-3	2	する	提案	D

CQ4-1	1	する	推奨	D
CQ4-2	1	する	推奨	D
CQ4-3	1	する	推奨	D
CQ5-1	2	する	提案	C
CQ5-2	2	しない	提案	D
CQ5-3	2	しない	提案	D
CQ6-1	2	する	提案	D
CQ6-2	2	する	提案	D
CQ6-3	2	する	提案	D
CQ7	無し			

これをもって CQ 担当者は、2 月中に校正を行う。
 今後のコンセンサスは、メールによる投票で決定する。
 2015 年度の報告書はガイドライン（案）を掲載する。

以上

文責 松藤 凡